

平生町立佐賀保育園概要



◆ 園の概要

設置主体 平生町

開設 昭和28年5月1日 昭和50年4月1日 現在地に移転

定員 40名

職員	園長	1名	3歳児以下担当保育士	5名
	4・5歳児担当保育士	4名	休日対応保育士	2名
	調理師	1名	送迎添乗員兼保育士	1名
	嘱託医（内科）	1名	嘱託医（歯科）	1名

◆ 保育機能

- ・乳児（6ヶ月以上）
- ・一時預かり保育
- ・0～2歳児保育
- ・障がい児保育
- ・3歳～5歳児保育

<保育時間>

平日 【保育標準時間】7:30～18:30 【保育短時間】8:30～16:30

土曜日 7:30～17:00（一日保育の場合は弁当、おやつ持参）

<延長保育>

平日 7:00～19:00

※ 有料 朝・夕どちらも100円（例）7:00～19:00の場合 200円

◆ 保育料

3歳児以上は無料となります。

◆ 副食費

3歳以上から毎月4,700円

◆ 主食費

全員 毎月1,000円

◆ 送迎車運行 令和3年4月1日から運行

朝、夕 2便運行 ※ 利用者で運行時刻、運行経路等を決めます。

※ 有料 2,000円/月

【保育目標】

『安心して生活する中で幼児期にふさわしい生活や遊びを通して、自ら友達や身の回りのことごとに意欲をもってかかわることのできる幼児の育成』

—平生町立佐賀保育園のめざす子どもの姿—



○自分が好き（愛され認められている）

「ほめほめタイム」で認め合う

○思いを伝える

「あのねタイム」で自己表現

○思いやりの心

感謝の心をいっぱい（ありがとう、ごめんなさい）

○自分の事は自分です

みんなで、なかよし給食

○自分で判断し行動する

自己決定・自己選択の場を

<保育方針>

- (1) **子どもの立場**に立って考える保育を目指し、一人ひとりを大切にし、心の安定と健やかな成長を援助します。
- (2) 豊かな自然環境と子どもたちに優しい地域性を生かし、**体験活動**を中心に社会生活に必要な基本的な力を育みます。
- (3) 園と家庭が手をつなぎ、豊かな信頼関係を基に「何でも相談できる保育園」を目指します。

◆ 年間行事

月	園 行 事
4	入園進級の集い、お花見給食、健康診断
5	春の遠足（船）、野菜づくり・収穫（年間）
6	ふれあい運動会、歯科検診、パン作り教室
7	七夕会、佐賀小1年生と交流、海水浴
8	水あそび、ハモ料理教室、夏祭りごっこ
9	お月見団子作り
10	秋の遠足（大星山）、定期健康診断、いもほり
11	みかん狩り、生活発表会、佐賀小秋祭り交流
12	クリスマス会
1	消防出初式参加、凧あげ、かるたとり大会
2	豆まき、カレー作り、お店屋さんごっこ
3	ひな祭り会、防火くい打ち、お別れ遠足 バイキング、卒園式

※毎月の行事：誕生会・成長測定・避難訓練



お花見

海水浴（佐賀の海）



七夕会

フルーツチェづくり



◆ 一日の保育

時 間	内 容
8:30	登園
9:30~	おやつ（3歳未満児のみ） 子どもの状態に応じた総合活動
11:30~	給食 
13:30~	子どもの状態に応じた総合活動 夏季は午睡 （3歳児、3歳未満児は年中）
15:00~	おやつ
16:00~	降園準備
16:30~	降園



夏祭りごっこ

クリスマス会



お店屋さんごっこ



ビュッフェ給食



節分

「5つのめざす子ども像」の具体取組

(1) 自分が好きな子（自己肯定感を高める）

○「ほめほめタイム」の設定・・・・・・・・一日の振り返り

時間：帰りのお集まり

方法：①今日の自分のよかったところを発表する。

②今日の友達のよかったところを発表する。

約束：必ず①か②のどちらかを発表する。

静かに聞き、終わったら拍手をする。 ※明るく楽しい雰囲気



(2) 思いを伝える子（表現力を高める：聞く力も鍛える）

○「あのねタイム」の設定・・・・・・・・一文程度の短い文からスタート

時間：休み明けの月（もしくは火）

方法：①週末の出来事や楽しかったりしたことなどを全員に話す。

「～したよ。」「～して楽しかったよ。」等の短い文でよい。

②自信をもたせるように、小さな声や言えなくても認める。

③徐々に言えるようになったら、周りの子から「もっと聞いてみたいこと」を聞いて、応えていけるようにする。

※話すことができた子には、しっかりと誉める。話すことが苦痛にならずに平気に話せるようにしていく。（話すことは当たり前）

約束：話すことがない子や、みつからない子は無理に話させることはしない。

（自分から話してみたくなるまで待つ）

(3) 思いやりのある子（思いやりの心＝感謝の心を育てる）

○「感謝の言葉をいっぱいに」・・・・・・・・園内でたくさん聞けるとよい

時間：日常の園生活の場面

方法：先生、友達に 何かしてもらったら「ありがとう」

うれしかったら「うれしいなあ」

相手を傷つけたら「ごめんなさい」

※先生（職員）からお手本を示す。

○「感謝の日」設定・・・・・・・・公共施設等に出かけ、感謝の言葉を

訪問：警察署、交流センター、郵便局、芋掘り

時間：母の日、父の日、敬老の日

方法：訪問は、施設に行き「いつもありがとうございます」

母の日等は、絵を描き渡すなど

(4) 自分のことは自分でできる子（自立：**食事** **着替え** **排泄**）

○「なかよし給食」の設定・・・・・・・・園児全員と一緒に給食

時間：月1回のお誕生会・お楽しみ会の日の給食

方法：プレイルームで全園児・職員と一緒に食事をする。

（天気の良い日は外給食）

※ 異年齢児と一緒に食事をすることで、自立心を育てる。



- ◎ 人の嫌がることはしない。
- ◎ 危険なことはしない。

(5) 自分で判断・行動できる子（判断力＝善・悪）

○「自己決定・自己選択の場」の設定・・・・・・・・自分で納得する

ポイント①見逃さず、曖昧にせず、分かりやすく

②職員が先に答えを言わない。「どうしたらよかった？」「先生はこうしたらよかったと思うけど、〇〇さんはどう思う？」

◆ 佐賀保育園 10 の取組

1 環境整備

- ・グラウンド、庭の芝生化
- ・四季の花づくり（ジャンボひまわり 3.5m）
- ・法面の芝桜化
- ・園の看板設置 他

2 野菜づくり

- ・カボチャ、里芋、玉ねぎ、
- ・キュウリ、トマト、オクラ、枝豆、スイカ他

3 バス、船遠足

- ・春遠足（佐合島・馬島）
- ・秋遠足（大星山）

4 親子クッキング

- ・ハモ料理教室（地元の魚を使って）
- ・パン作り教室

5 絵本の読み聞かせ

- ・年間3回（7月、12月、3月）

6 地域の方と交流

- ・佐賀コミュニティと連携、協力
- ・つくし会（三味線）・みかん狩り

7 体力づくり

- ・なわとび ・鉄棒 （・サッカー教室）

8 ほめほめタイム

- ・帰りのお集まり時に、よかったこと発表

9 あのねタイム

- ・週初めに週末の出来事発表

10 なかよし給食（全員での給食）

- ・毎月1回、実施 ※外での給食もあり

◆ 大好きふるさと佐賀（魚・鳥を覚えよう）

○佐賀でとれる魚を知り、魚を好きになろう！

- ・ハモ ・タチウオ ・アジ ・サヨリ
- ・ハマチ（ヤズ） ・マダイ ・ヒラメ
- ・カレイ ・カワハギ ・レンチョウ 他

○佐賀で見られる鳥をたくさん見つけよう！

- ・スズメ ・ツバメ ・セグロセキレイ
- ・ムクドリ ・ジョウビタキ ・キジバト
- ・キジ ・メジロ ・ヒヨドリ ・モズ

<特色ある活動>

ふるさと愛を育てるための「大好き佐賀」

①佐賀で捕れる魚を知ろう ②バードウォッチングをしよう

- ・ 写真を掲示し、興味・関心を高める
- ・ 巣箱をかける。えさ台をつける。

③鍛錬徒歩遠足（年長：阿多田交流館往復 8 km） 海岸散歩



<園児や保護者にとっても安心・安全に生活できて信頼のある保育園となるために>

《佐賀保育園職員全員が心掛ける10の行動方針》

佐賀保育園職員は

- 1 笑顔であいさつ、笑顔で働こう
 - 2 感謝・思いやり・謙虚な気持ちで働こう
 - 3 安全・安心を第一に働こう
 - 4 ほめ上手・認め上手になろう（役者になったつもりで）
 - 5 肯定的な言葉掛けをしよう
 - 6 感情的にならず、必要以上に大きな声を出さないようにしよう
 - 7 誰もが一貫した対応をしよう（情報の共有化が必要）
 - 8 全体を見つつ、個に意識を向けよう（小規模園のよさ）
※ 見る 観る 診る 看る 視る
 - 9 整理整頓をし、清潔な環境づくりをしよう
※ 内外の環境を整える
 - 10 積極的に研修に努め、スキルアップに心がけよう
- ☆ 子ども中心の保育に努めよう
 - ☆ 専門職であるという自覚と意識をもとう
 - ☆ いつ誰に見られても恥ずかしくない保育と保護者支援を提供できるようにしよう
 - ☆ 「子どもにとって」「保護者にとって」の視点で共感的な立場で考えよう

- 全職員が明るく楽しく働くことができる職場は、園児にとっても安心な場所となる
- 不適切保育とならないためにも、必要な行動である

< 保 育 目 標 >

～ 意欲をもって関わることのできる幼児の育成 ～

